

ベスト式空調服を支給

【兵庫】平戸梶包運送(平戸伸和社長、神戸市中央区)は今夏から、電動式のファンを装着したベスト式空調服を作業着として採用し、暑い時期でも快適に作業できる体制を整えている。

同社の引っ越し部門を担当するヒカリ引越しセンター(同)のドライバー、作業員に支給。引越作業は炎天下での作業も多い上、昨今では新型コロナウイルスの感染防止でマスクを着用するため、従来以上に負担が大き

平戸梶包運送



社員からは「邪魔になることもなく、作業に支障は出ていない」と好評

くなっていた。2020年

していく。

から作業着としてハーフパンツを採用するなど暑さ対策を進めており、社員がより作業しやすい環境を整備

用しながら動くので、かなり負担を強いられる。できる限り涼しい服装で作業で

きないかと考え、ベスト式の空調服を採用した。日本で一番涼しい格好で引越作業を行えるのではないか」と冗談交じりに説明する。

ファンが内蔵されているため煩わしさを感じる懸念もあったものの、社員からは「邪魔になることもなく、作業に支障は出ていな」と好評を得ているという。「マスク着用などコロナ禍の影響はいまだ少ないものの、自分たちの生きるところから対策を進め、ひいては顧客へのサービス向上につなげていきた